

岐阜県の プラスチック

工業組合の平成15年度総会開催。役員改選では大松理事長らを再選
新事業に活路開拓調査・実現化事業……年間事業計画を紹介
総会記念講演は市場開発研究所代表の大野明男氏（講演要旨紹介）
組合青年部も総会を開催。新部長に林敬一郎さんを選ぶ
技能検定合格者に合格証書を伝達（合格者を紹介）
6月23日からプラスチック射出成形の技能検定実技試験を実施
事務局だより

平成15年度の事業計画や予算を決めた第35回通常総会



工業組合とデザイン協会の総会開く

新規事業・活路開拓事業を推進 大松理事長らを再選し新体制で

岐阜県プラスチック工業組合は、5月24日午後、岐阜グランドホテルで『第35回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第41回通常総会』を開催した。総会議案は①平成14年度事業報告と収支決算②新規事業の活路開拓調査・実現化事業など平成15年度事業計画と収支予算③平成15年度賦課金及びその納入方法④平成15年度取引金融機関及び借入金最高限度額で、いずれも原案どおり議決した。

続く「任期満了による役員改選」を行い15理事と2監事を再選、新たに2理事を選出した後、初理事会を開き理事長に大松利幸氏、副理事長に大野實、日比勝次、児玉栄一の各氏らを選任した。退任した児玉俊一副理事長は、歴代理事長の武藤昭三、大野繁俊氏らとともに顧問に就任してもらうことにした。総会後は技能検定合格証書伝達式（記事は9～10ページ）さらに市場開発研究所の大野明男代表を招いて『トヨタ流のコストダウンの進め方』をテーマに記念講演会を行なった。（講演要旨は6～7ページ）

来賓から激励… 岐阜県と中央会

総会は新任の宮田事務局長の司会で開始し、児玉・副理事長の開会あいさつ、つづいて大松・理事長があいさつに立ち、当面する「組合運営と業界の課題」を示した。

この後、来賓を代表して高橋一吉・県農林商工部商工局産業経済室長と

森本安彦・県中小企業団体中央会専務理事から

「経済不況の中で、35回という節目の総会を迎えられたが、さらに一層、活発な組合活動と業績を重ね、業界の発展と社会貢献を続けてほしい」と、激励の祝辞を受けた。



新年度総会でプラスチック業界の方向を示唆する大松理事長

「研究機関と共同で解決図ろう」

大松理事長のごあいさつ

大松理事長は、まず当面する業界の課題について「プラスチック業界の動向を左右する原油

市況は、イラク問題が早期に解決したものの一進一退で予断は許されない。製品市況も“上方硬直、下方軟弱”の現況。本来ならば“下方硬直”であってほしいのに、デフレの中で



技能検定合格証書の伝達式

製品価格は下落一途。たとえ原油価格が下がっても製品価格の下落分をカバーできない。

「今日の自動車産業は良いといわれるが、関連成形メーカーの話では、毎年、毎年コストダウンを強いられ、自動車産業の繁栄と裏腹の厳しい経営環境にあるといます。成形加工業界は今後も、こうした関連業界の齟齬せと素材価格の動きに一喜一憂させられる中で、ますます生き残り対策を強めていかねばならない。対策の柱は、やはり“他社と違った製品”“付加価値の高い商品”づくりにあり、これをやらねば“企業間競争”には勝てません」と現況と課題を話

した後、今後の組合運営について、

「工業組合は創立して35年になりますが、その役割の中で企業が最も期待することは、製品技術研究所など、県の研究機関との交流や共同開発にあります。工業組合としては、研究所と企業の橋渡しの役割を果たすべきと考えます。とはいうものの企業にとって研究所の敷居は高く、連携プレーはなかなか実現しません。これからの組合運営は、反省点を踏まえながら業界が直面する課題を研究所へ持ち込み、共同で解決していきたいので、岐阜県はじめ関係機関のご協力をお願いしたい」と支援を依頼した。

「地場産業の再生にチャレンジしたい…」

来賓の県産業経済室長と県中央会専務理事から激励の祝辞

来賓の高橋一吉・県農林商工部商工局産業経済室長からは「今日、産業界の景況は極めて厳しいものがありますが、県としてはこの時こそ“物から人へ”の考え方で人を育て“産業おこし”に力を入れていく方針です。このため“人材育成10万人計画”を打ち出し、健康福祉や環境対策など新たな産業分野を開拓、さらにはセンターや研究機関を総動員して地場産業再生にチャレンジしていきたい。平成8年から5年間に県内事業所は商工業合わせて5.9%も減少しており、県としては業界の声・現場の声を聞き地場産業の付加価値を上げるデザイン振興に力

を入れたり、新しい発想で産業の交流を深め、減少傾向を食い止めていきたい」と、激励の祝辞があった。

また、組合指導機関の森本安彦・県中小企業団体中央会専務理事は「産業界はどの業界も厳しく苦しく、改革なくして生き残れません。中央会は改革の手助けにと、大企業でリストラされた優秀な人材を中小企業へ派遣してもらおうと要望、それが今年、実現、6人が県職員として配属されました。今後は“中小企業アドバイザー”として幅広く活躍してもらおうので、大いに利用してほしい」と指導を約束した。

新年度事業計画 予算などを可決

予算総額は 2,491 万円

総会議事は最初に①平成14年度の事業報告、総額2,016万余円にのぼる平成14年度決算、126万余円の人材高度化支援事業特別会計決算②9項目、18事業にのぼる平成15年度の事業計画と総額2,491万円の事業予算③平成15年度の賦課金及び納入方法④平成15年度の取引金融機関及び借入金最高限度額一の議案説明と審議の後、いずれも原案どおり可決した。

検定合格率向上へ研修事業行なう

事業計画内容は「工業組合の組織強化はもとより計画した事業を積極的に展開していく」を基本方針に、新規事業の活路開拓調査・実現化事業など、次の事業に取り組む。

〈指導教育事業〉 ①前年度と同じく国、県、中小企業団体中央会、その他産学官等の関係機関と連携を図りながら組合員のための研修会、講演会、セミナーを積極的に推進していく。

②技能労働者の技能向上のため、技能検定受検を推進し『プラスチック成形射出成形作業』『プラスチック成形用金型製作作業』『プラスチックブロー成形製作作業』の技能検定試験を委託実施し、さらに関連職種の『プラント製図・機械製図CAD作業等』の受検促進を図っていく。

③技能検定試験の合格率向上のため、事前に各検定職種の特別講習会を実施する。

④経済、技術、環境等の講演会を開催する。

⑤廃プラスチック処理対策検討委員会を随時開催する。

⑥中小企業雇用促進PR事業を行う。

⑦先進企業の視察研修及び技術専門展・見本市を視察する。

⑧インターネットホームページの掲載事業を継続実施する。

労働保険の事務代行をさらに促進

〈情報提供事業〉 ①会報『岐阜県のプラスチック』を年6回発行し、必要な経済・業界情報を提供する。

②国、県、各団体等からの情報を組合員へ提供する。

〈共済事業〉

①組合員に対し、低廉な薬品等の斡旋事業を行う。

②離型剤、防錆剤の斡旋事業を行なう。

〈金融事業〉 県、政府系金融機関等が実施する運転・設備資金の融資および各種中小企業制度融資を組合員に周知し、指導、斡旋事業を実施する。

〈事務代行業〉 組合員の労働保険業務を組合員に代わって行う代行業務を継続実施する。また、勤労者福祉を支援し、労働保険未手続き事業所の適用促進を図る。

〈調査研究事業〉 変革する社会情勢の中で適切な情報や施策を提供するため、必要な調査・情報の収集を実施する。

新規に活路開拓調査・実現化事業

〈活路開拓調査・実現化事業＝新規事業〉

県中小企業団体中央会の補助事業（政府指導事業）として「活路開拓調査・実現化事業」に取り組む。事業内容は『廃プラスチックの樹脂別分別回収と再資源化機構の実現』をテーマに①組合員における廃プラの樹脂別排出量と形態の確定②廃プラの樹脂別分別方法のルール化③分別後の回収方法策定④成形加工業者と再生処

理業者の連携による廃プラ再資源化⑤再生できない廃プラの処理対策一などを調査・検討、資源循環型社会に適する業界活動の実現化に取り組む。

〈福利厚生事業〉 組合員の親睦交流・連携を図るため①技能検定合格証書伝達式②組合員の健康づくり親睦ゴルフ大会③組合員の慶弔見舞い一などを実施し、組合の円滑な運営と組織の強化・活性化を図る。

〈定例役員会の開催〉 隔月に定例役員会を開催し、組合の懸案する事業・問題を処理、また役員間の情報交換等を行うなど、円滑な組合運営を図っていく。

今年の業界関連見本市

《全日本プラスチック日用品フェア》 10月27日から2日間、東京ビックサイトで開催。日本プラスチック日用品工業組合の主催。

《2003名古屋プラスチック工業展》 11月9日から4日間、ポートメッセ名古屋で開催。中部プラスチック連合会、日刊工業新聞社などの共催で、プラスチック関連の機械、金型、材料、成形製品、リサイクル製品を展示。

《ウェステック2003》 11月25日から4日間、幕張メッセで開催。ウェステック実行委員会が主催する廃棄物処理・再資源化展で、リサイクル関連の全国規模の展示会。

大松理事長5期目の再選、新理事は2人

理事17人と監事2人の新役員体制を決める

総会の席上、任期満了に伴う役員改選を行ない、理事17人、監事2人を選出した。うち新理事は児玉栄一、高安義英の各氏。

引き続き初理事会を開き、理事長に大松利幸氏、副理事長に大野實、日比勝次、児玉栄一の各氏を選任した。これで大松理事長は5期目の再選となった。副理事長を退任した児玉俊一氏は、元理事長の武藤昭三、大野繁俊氏とともに顧問に就任してもらうことになった。

次は選任された役員のみなさんで、任期は2年間。

《理事長》

大松 利幸（岐阜プラスチック工業㈱）再

《副理事長》

児玉 栄一（コダマ樹脂工業㈱）新

大野 實（㈱東海ポリエチ工業所）再

日比 勝次（大垣プラスチック工業㈱）再

《理事》

下野 利昭（アテナ工業㈱）再

川瀬 保雄（㈱川瀬樹脂工業）再

林 貢一郎（岐阜産研工業㈱）再

篠田 哲（岐阜技研ポリマー㈱）再

斎藤 栄市（㈱斎藤プラスチック工業所）再

岡部 修二（シーシーアイ㈱）再

高安 義英（高安㈱）新

宗宮 増美（天龍工業㈱川辺工場）再

石原 良美（㈱ニッセキ）再

高垣美代子（八幡化成㈱）再

杉山 元彦（パール化成品㈱）再

武藤 幸平（㈱武藤化成工業所）再

清生 勝文（ムトー精工㈱）再

《監事》

久世 幸博（㈱久世樹脂工材）再

宇野 隆（㈱東海化成工業所）再

《顧問》

児玉 俊一（コダマ樹脂工業㈱）

武藤 昭三（ムトー精工㈱）

大野 繁俊（㈱東海ポリエチ工業所）

市場開発研究所代表・大野明男さんの講演

「コストダウンは、つねに改善の連続」

トヨタ流のコストダウンの進め方を話す

工業組合は岐阜グランドホテルで総会を開いたが、これを記念し市場開発研究所代表の大野明男さんを招き『トヨタ流のコストダウンの進め方』をテーマに講演してもらった。大野さんは大垣市出身、トヨタ生産方式の導入、生産改善指導、新市場・新製品開発などと幅広く活動、近年は県中小企業支援センターのプロジェクトマネージャーとして長年の経験を踏まえた実践指導を手がけてきた人。講演の中で大野さんは「ムダには七つのムダがある。このムダを徹底的に排除、改善を重ねること。コストダウンは、ムダを省く改善の連続である」と話し、感銘を受けた。次は講演の要旨。

柱はジャストインタイムと自動化

「トヨタ生産方式」を一口にいうと「無駄を徹底的に排除し、顧客の望むニーズに柔軟に対応して市場へ品質の良い物を安価に提供する生産システム」といえる。そのシステムの柱は①ジャストインタイム②自動化（動ではなく、働くの意味）の2本柱から成り立っている。

ジャストインタイムとは「必要な時に必要なだけ、生産ラインまで届けるシステム」をいい、自動車会社の創始者・豊田喜一郎さんの言葉。また、自動化は自動織機を開発された豊田佐吉さんの有名な言葉である。

つくりすぎなど七つのムダがある

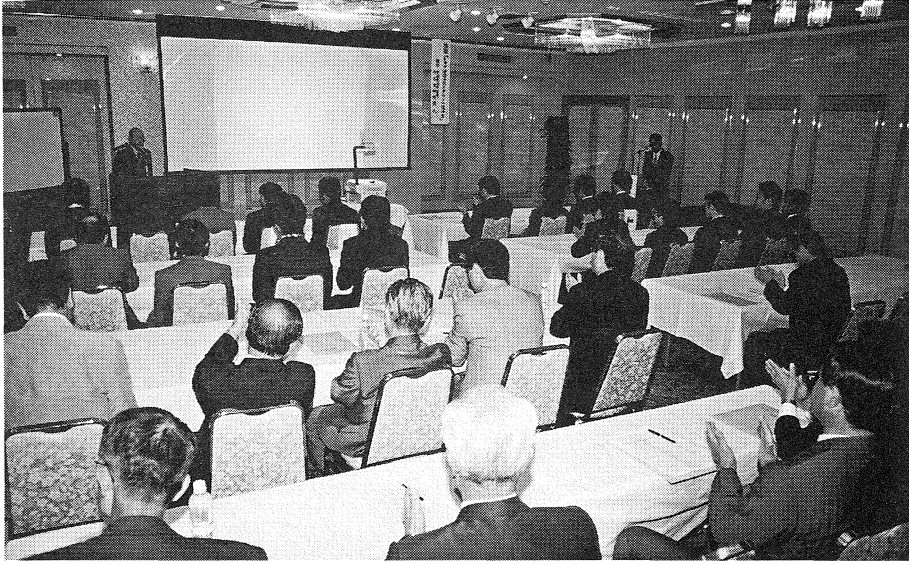
人は仕事、仕事と軽々しくいうが、仕事には無駄（ムダ）が混在する。無駄とは駄賃をもらえないもの、付加価値を高めていかないものを指すが、このムダを徹底排除することにより、作業効率を大幅に改善・向上しコス

トダウンが可能というわけ。

ムダには①つくりすぎのムダ②手持ちのムダ③運搬のムダ④加工そのもののムダ⑤在庫のムダ⑥動作のムダ⑦不良をつくるムダ—の七つのムダがある。

つくりすぎのムダを無くす方法として、生産指標であるカンバン方式の導入、必要な品だけつくり仕掛かり品を無くす後工程引き、売れたものをつくるマーケットインの考え方が重要だ。手持ちのムダは秒単位で無くす。運搬のムダは最小限に、ワークの着脱、監視、バリ取りなど加工のムダも見落としがちである。在庫のムダは、整理・整頓・清潔・清掃・しつけ—の5Sを徹底させることで排除し、いらぬものは無くす。よくあるのは動作のムダで、取り置き、捜し物はムダ歩きで、工程の離れ小島はつくるな。さらに不良が出たら、ラインをすぐ止め、真因を分析、再発防止対策をたてることだ。

七つのムダの中で「停滞のムダ」「運搬のムダ」「動作のムダ」を三大ムダといい、このムダの



「ムダには七つのムダがある」と講演する大野明男さん

発見と排除がコストダウンの決め手になる。有名になった「カンバン方式」をそのまま導入すると、失敗する。ムダを無くしその企業、その工場に見合ったジャストインタイムを取り入れないと成功しない。

5回のナゼを繰り返して再発防止

コストダウンを進めていく中で「目で見える管理」「3直3現主義」「5回のナゼ」「多品種少量生産」「速やかな段取り替え」も欠かすことはできない。目で見える管理とは、工程の悪さと程度を、誰にもすぐはつきり見える仕組みづくりをすること。3直3現とは、直ちに、現場に、直行し、現物を、直視し、現状の、改善を図り、不良品を次工程へ送らないことだ。

5回のナゼは、5回のナゼを繰り返し、真因を追求・分析して対策と再発防止を徹底的にやること。トラブルの原因は3回ぐらいでは見つからず、念には念を入れ4回も5回も見直し、真因を発見「絶対的な再発防止対策を行なえ」ということ。

マニュアル化せよ段取り替え手順

速やかな段取り替えを行なうには、まず現状を調べて「機械を止める内段取り替え」から「機械を止めない外段取り替え」を実現すること。それには誰にもできる作業手順をマニユア

ル化し、実施する必要がある。

成形用金型を例に段取り替えのチェックリストをあげてみると、次の点が考えられる。

- ・ 段取り替えの作業手順が標準化されているか。
- ・ 作業内容はムダ、ムラ、ムリはないか。
- ・ 必要な作業内容が分かっているか。
- ・ 交換する金型、ゲージなど必要なものが外段取りで整備、準備されているか。
- ・ 必要なものが手に届く所にあるか。

改善は完了した瞬間から古くなる

- さらに「改善の着眼点」をあげると、
- ・ 適切な工具がそろっているか。
 - ・ 工具の種類は減らせないか。
 - ・ 余分な取り外し部品はないか。
 - ・ ナゼ調整が必要か。どうしたらそれを無くせるのか。
 - ・ ボルトを無くせないか。
 - ・ ワンタッチ化できないか。
 - ・ 部品交換がよいか、アッシー交換か。
 - ・ ゲージ化、スペーサー化ができないか。
 - ・ 引き当て変更、工程変更、段取り変更などで、段替え内容を簡略化できないか。
 - ・ トライショット回数を減らせないか。
- の点が考えられる。

こうしたムダを省き改善を重ねてきたが、改善は改善が完了した瞬間から古くなる。コストダウンは、つねに改善の連続である。

部長に林敬一郎さん

自己啓発と創造力を発揮
青年部の新年度活動方向



林新部長

工業組合の青年部は5月17日、岐阜市内のホテルスポーツパルクで第22回通常総会を開いて、平成15年度の事業計画や予算を決めた後、役員改選を行なった。新部長は林敬一郎さん（岐阜産研工業㈱）で「前部長の方向性を継承し、さらに発展させていきたい。未定の視察研修先は、社会見学の要素を含めて選定、新展開へのエネルギーにしたい」と就任の抱負を話した。

新年度の活動目標は『次代を担うリーダーとして自覚を持ち自己啓発と創造力を発揮、さらなる青年部の発展を図るため、会員相互の連携を強固なものとし、事業を実施していく』の点に置き、次の事業を実施していく。

その事業は隔月に行うことにし、7月は愛知県プラスチック成形工業組合青年経営者研究会との合同研修会、秋には視察研修旅行、11月には愛知県青年部との合同ゴルフコンペ、平成16年1月は新年互礼会、同3月には講演会をそれぞれ予定し、計画を練っていく。年間の事業予算は150万余円を予定している。

なお、現在の青年部員は27人で、新役員は次のみなさん。

〈部長〉

林 敬一郎（岐阜産研工業㈱）

〈副部長〉

横山 剛（横山プラスチック工業㈱）

児山 成広（児山樹脂）

〈監事〉

服部 健夫（㈱服部樹脂）

秋丸 隆男（昭和化成㈱）

〈相談役〉

川瀬 忠雄（㈱川瀬樹脂工業）

杉山 元彦（パール化成品㈱）

篠田 治（岐阜技研ポリマー㈱）

古田 博康（㈱古田製作所）

〈顧問〉

大松 利幸（県プラスチック工業組合）

プラスチックデザイン協会も総会

講習会や研修会などへの参加

工業組合の総会に続いて岐阜県プラスチックデザイン協会も通常総会（第41回）を開き、平成15年度の事業計画と予算を決めた。

新年度の予算は19万円で、事業内容は①デザイン講習会②関係資料の配布③岐デ振主催の各種デザイン事業への参加ーなどを進める。

ポリエチレン

スミカセン[®]

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート[®]

ポリプロピレン

住友ノーブレン[®]

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット[®]

メタアクリルシート

スミペックス[®]

メタアクリル樹脂

スミペックス-B[®]

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE[®]

合成ゴムSBR

住友SBR[®]

合成ゴムEPR

エスプレッ[®]

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト[®]



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

総会席上で技能検定合格者を励ます

平成13年度後期19人、平成14年度前期14人、同後期21人

工業組合は新年
度総会後の席上で
『技能検定合格証
書伝達式』を行い
技能検定合格者の
前途を祝った。伝
達対象者は、平成
13年度後期に合格
した19人、平成14
年度前期に合格し
た14人、平成14年
度後期に合格した



伝達式に出席した技能検定合格者が大松理事長を囲んでの記念撮影

21人の合計54人で、次は合格者のみなさん。

なお、工業組合が技能検定実施らしいの合格者数は、プラスチック成形の特級6人をはじめプラスチック射出成形作業1級63人、2級387人、ブロー成形作業1級12人、2級57人、金型製作作業は1級11人、2級41人に達した。

〈13年度後期技能検定の合格者〉

◆プラスチック成形（特級1人）

特級 小林 秀彦（岐阜プラスチック工業㈱）

◆金型製作作業（1級1人、2級3人）

1級 村井 慎治（ムトー精工㈱）

2級 福島 伸二（岐阜プラスチック工業㈱）

岩井 秀禎（岐阜プラスチック工業㈱）

古川 智紀（岐阜プラスチック工業㈱）

◆ブロー成形作業（1級3人、2級10人）

1級 吉川 政弘（コダマ樹脂工業㈱）

星 則男（コダマ樹脂工業㈱）

平光 完治（岐阜岐研ポリマー㈱）

2級 角橋 正男（コダマ樹脂工業㈱）

高野 毅（コダマ樹脂工業㈱）

青井 徹徹（コダマ樹脂工業㈱）

土屋 靖貴（コダマ樹脂工業㈱）

三島 信彦（コダマ樹脂工業㈱）

丸山 勲（コダマ樹脂工業㈱）

河合 恵介（コダマ樹脂工業㈱）

浅野 隆将（コダマ樹脂工業㈱）

小寺 正史（コダマ樹脂工業㈱）

森 厚之（コダマ樹脂工業㈱）

◆機械製図CAD作業（2級1人）

2級 汲田 雅司（岐阜プラスチック工業㈱）

〈14年度前期技能検定の合格者〉

◆射出成形作業（1級1人、2級13人）

1級 櫛田 和康（岐阜プラスチック工業㈱）

2級 大松 裕明（岐阜プラスチック工業㈱）

桑原 雄二（ムトー精工㈱）

宇野 篤（㈱東海化成工業所）

永田 順也（岐阜プラスチック工業㈱）

林 裕一郎（岐阜プラスチック工業㈱）

今永 厚（岐阜プラスチック工業㈱）

後藤 大剛（岐阜プラスチック工業㈱）

青木 達彦 (岐阜プラスチック工業㈱)
荒川 武志 (岐阜プラスチック工業㈱)
唐沢 勲 (岐阜プラスチック工業㈱)
渡辺 英樹 (中部合成㈱)
安田 泰崇 (岐阜プラスチック工業㈱)
片上 直樹 (アバンステクノ㈱)

仙石 英司 (コダマ樹脂工業㈱)
松尾 貴樹 (コダマ樹脂工業㈱)
国枝 信一 (コダマ樹脂工業㈱)
遠藤 大 (コダマ樹脂工業㈱)
高橋 幸司 (コダマ樹脂工業㈱)
今枝 孝幸 (コダマ樹脂工業㈱)
加納 智 (コダマ樹脂工業㈱)
末政 健二 (コダマ樹脂工業㈱)
白石 健司 (コダマ樹脂工業㈱)
本田 清春 (コダマ樹脂工業㈱)

〈14年度後期技能検定の合格者〉

◆プラスチック成形 (特級1人)

特級 飯島 招男 (岐阜プラスチック工業㈱)

◆金型製作作業 (2級5人)

2級 田中 宗治 (ムトー精工㈱)
押谷 学 (岐阜プラスチック工業㈱)
速水 広紀 (ムトー精工㈱)
松野 隆 (ムトー精工㈱)
遠藤 良典 (ムトー精工㈱)

◆機械製図CAD作業 (2級1人)

2級 水野 毅 (岐阜プラスチック工業㈱)

◆ブロー成形作業 (1級1人、2級13人)

1級 武藤 茂 (㈱武藤化成工業所)
2級 渡辺 浩二 (コダマ樹脂工業㈱)
梅津 健司 (コダマ樹脂工業㈱)
永山 恵史 (コダマ樹脂工業㈱)



大松理事長から技能検定合格証書を伝達
(右からプラスチック成形特級の飯島招男さん、射出成形1級の榎田和康さん、ブロー成形の渡辺浩二さん)

— プラスチック射出成形の実技検定 —

6月23日から16日間

— 講習会は6月16日から3日間 —

工業組合は県職業能力開発協会から受託した平成15年度前期技能検定『プラスチック射出成形』の実技試験を、6月23日から7月14日までの土日を除く16日間、県製品技術研究所で実施する。また、検定に先立つ特別講習会を6月16日から3日間、研究所3階講堂で実施する。

今年度の射出成形受検予定者は、1級が学科のみ3人、実技のみ4人、両方10人、また2級

は学科のみ13人、実技のみ10人、両方が39人の合計80人にもものぼり、平成12年度の90人に続く高水準となった。実技試験対象者は1級14人、2級49人、合計63人となる。

実技検定試験は、午前、午後に分かれて1日4人ずつ行なう。2級は3時間以内に2種類の樹脂を使用し、課題の箱状成形品を作成する。1級は3時間40分以内に2種類の樹脂を使用、課題の成形品を成形し「成形収縮率計算票」と「材料歩留まり率計算票」を作成する。

なお、学科試験は8月24日、合格者の発表は10月7日(火)に行なわれる。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□総会出席ありがとうございました□

さる5月24日に開きました新年度総会へのご出席ありがとうございました。議事は紹介しましたとおりで、いずれも原案どおり可決していただきました。事業実施に当たっては、会員各位のご協力が必要であることは勿論のこと、特に役員の皆様方の積極的な実行力に期待いたしますので今年度もよろしくお願いいたします。

今年は総会後の懇親パーティーを取り止め、経済情勢に配慮した総会になりましたが、これを機会に、スリムで、実効の伴う事業の推進を図ることが今後課せられた課題と考えます。

□新加入7社、組合員は合計99社に□

新加入組合員が7社あり、組合員は合計99社になりました。新組合員は各務原市の(有)旭合成

美濃市の(株)オルパック、愛知県大口町の金松産業(株)、羽島市の近東化学(株)、岐阜市の岐北化学(株)、小牧市の(株)三栄工業、さらに美濃市の吉忠化学工業(株)で、今後、よろしくお願いいたします。

□新しい事務局長、宮田さんが着任□

事務局長の高坂貞夫さんが3月末で退職し、新任は宮田盲(とほる)さんです。宮田さんは岐阜県庁の商工関係部局一筋に活躍されてきた方です。ご期待ください。

岐阜県のプラスチック 2003年 第171号

平成15年5月30日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 宮田 盲

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有効の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOVATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最高の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

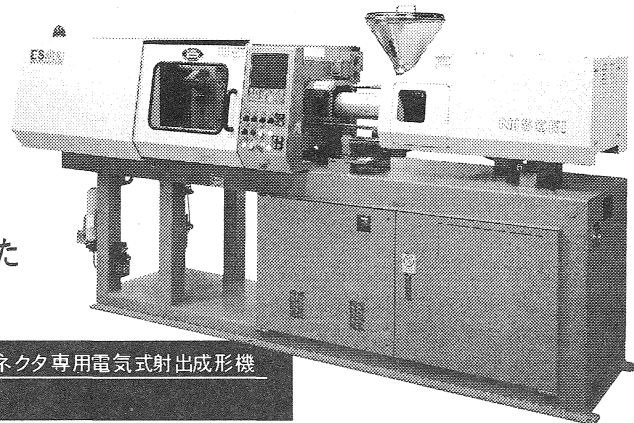
高密度ポリエチレン	ノバテックHD
低密度ポリエチレン	ノバテックLD
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックLL
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックC6
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂	ノバテックEVA
ポリプロピレン	ノバテックPP

日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 1100

TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-8040

先進の高機能 NISSEIの 射出成形機

世界に先駆けて「電気式射出成形機」を開発した
NISSEIのエレクトロテクノロジー。



狭ピッチコネクタ専用電気式射出成形機

NISSEIは、
射出成形機・金型・金型製作ソフト・
成形支援システムの総合技術力で
お応えします。

射出成形機・金型・金型製作ソフト・成形支援システム

NISSEI®

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所・テクニカルセンター/〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568)75-9555(代)
■岡崎出張所/〒444-0858愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎(0564)52-1430
■三重出張所/〒514-0824三重県津市神戸横田203-4 ☎(059)224-0716

■本社・工場・技術研究所/〒389-0693長野県坂城町南条2110 ☎(0268)81-1050(営業部)
●http://www.nisseijushi.co.jp

殻を破った!

直圧式電動射出成形機

NADEMシリーズ

直圧式型締機構とダイレクト駆動で
「電動」がさらにレベルアップ。

- 画期的な直圧式型締機構。
(特許出願中)
- ACサーボモータによるダイレクト駆動で応答性の極限値を達成。
- 特殊装置による背圧制御で、
低圧域の精度を高め、ロードセル
の長寿命化を実現。(特許出願中)
- コントローラは高応答、高操作性
を追求して開発した、専用の「VISTAC-α」を搭載。



NADEM 800-DM
(型締力800 kN)オプション装着機



株式会社 名機製作所
http://www.meiki-ss.co.jp

本社・工場 〒474-8666 愛知県大府市北埜町大根2 ☎(0562)48-2111(代)
中部支店 〒474-8666 愛知県大府市北埜町大根2 ☎(0562)47-2391(代)
岐阜出張所 〒501-6001 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎(058)247-2674(代)

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

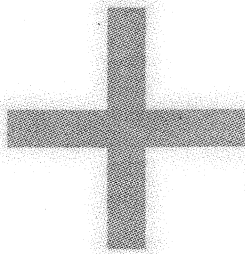
▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

[プラスアルファ]



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に
*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターベレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

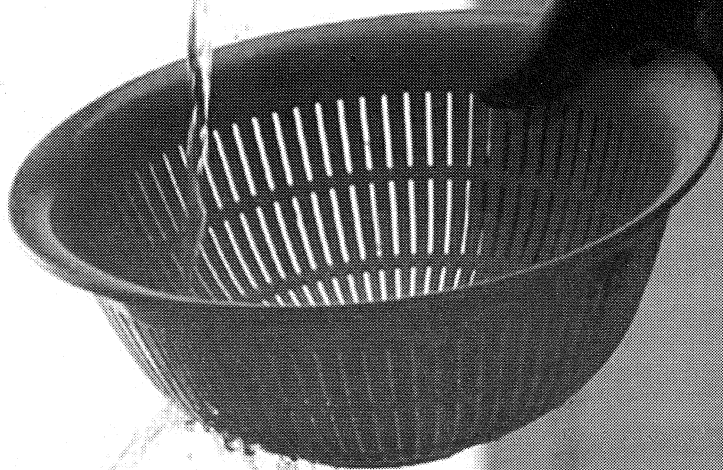
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル東館
名古屋支店 シリコーン部 (052)581-6515

くらしのこだわり...

**HOME &
HOME**

-RISU BASIC-

クロス
croissant®



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つのPoint

ポイント
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

RISU リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目2番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社